

事業所名	グループホームてまり (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成19年 3月30日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、NAAHP-2級、介護支援専門員 B:現職 デイサービスセンター管理者 資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士 C:現職 理学療法士 資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年)
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>遠かに玉島の町並みが見渡せる高台の開静な住宅地に在り、そこからの景観は、入居者や訪問する家族の心を明るく晴れやかにし安らげる素晴らしい環境である。</p> <p>3ユニットと規模は大きく大家族ではあるが、全体を統括する室長は各フロアの管理者と連携を深め、職員一丸となって自立に向けた認知症介護に取り組んでいる。</p> <p>母体は直ぐ近くの総合病院であり、平素の健康維持及び緊急時の入院受け入れ等医療のバックアップ体制が万全で、安心してホーム生活を送れる。</p> <p>職員の能力向上・自己啓発・資格取得を積極的に応援しており、高いレベルの内部・外部研修をバックアップ出来る体制を推進している。</p> <p>ホームは地域に溶け込み、町内会にも加入しており、地域活動として地元の氏神様(山神様)のご祭礼や掃除にも参加し、入居者の社会参加を促すようにしている。</p> <p>職員は常勤体制を取っており、定着している。このことは、室長のグループホーム運営に関する確固たるポリシーでもある。職員の接遇態度はさわやかで、入居者は大変明るく、馴染みの職員を信頼して共同生活を送っている。</p> <p>高齢社会に対応すべく、一体化した高齢者の生活支援システムをグループホームの核として展開している。代表者の積極的かつ開明的な方針と実践は、全職員に活性化と向上心をもたらしている。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<p>母体法人は、県下に先駆けて高齢者向け優良賃貸住宅「サンヒルズてまり」を作り、小規模多機能型福祉施設「おとしま」も県内に開所予定であり、地域福祉に大きく貢献しようとする姿勢がうかがえる。法人の規模・組織力・人的資源を生かし、地域の多様化する高齢者福祉の中核となり、市民の付託に応えて行かれることを期待する。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>「てまり」の基本理念とする、人間らしく「生きるよこび」を味わえる「心地よい」ホーム生活を楽しんでもらうため、入居者一人ひとりの暮らし・性格・思い・これまで歩いて来た歴史をしっかりと見つめ、その人をありのままに受けとめて対応している。</p> <p>職員は「親しき仲にも礼儀あり」として、高齢者の人格を尊重し、入居者個人の尊厳を重視し、生きる力を引き出すようにしている。</p> <p>地域に開かれたグループホームとなるよう地域との交流を進め、地域に密着してとけ込んだ「てまり」となるよう職員と入居者が一体となって地域参加を押し進めている。</p> <p>母体法人を中心に「感染委員会」を設け、入居者・職員の健康管理には特に留意し、共同生活の安全・安心を徹底して追求している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>職員は、ホームを自分の家庭と思い、家族に接するように入居者に接している。入居者一人ひとりに気を配り、いつも誰かが傍らにいて話し相手となり、安心感を抱いてもらえるように努めている。</p> <p>入居者が自分の存在感を意識でき、その人らしい生活が営める舞台づくりを心掛けている。家族の一員として入居者それぞれに役割があり、助け合う喜びやホーム生活に連帯感を育むように努めている。</p> <p>一日の流れの中で、職員は入居者とのコミュニケーションが常時途切れずに行われるように配慮している。また、職員と一緒に作った季節感あふれる作品を掲示するなど、心が安らぐ場作りを心掛けている。</p> <p>今までの生活を継続し、それぞれが自由に活動出来るよう職印はさりげなく支援し、生活の潤いと心理的安定を図っている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせて調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居者の生活歴、かつての職業・経験を把握し、慣れ親しんだ菜園の作業や犬の世話等、自身でできる仕事に就んで取り組むように支援し、昔の経験や自主性を尊重するようにしている。</p> <p>入居者の個人情報の保全に万全を期しており、情報管理に関するマニュアルを設置して余分な書類は全てシュレッダーにかけて処分し、個人情報の取扱いに配慮している。</p> <p>入室時には必ずノックをし、了解を得た後に入室しており、個々のプライバシーの保護に努めている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>積極的に内部・外部研修に職員が参加出来るように援助しており、研修内容は職員全員に伝え、問題意識の共有と職員の介護技術のレベルアップに生かしている。</p> <p>入居者・職員の衛生管理を重視し、感冒・食中毒等の感染症予防のため「感染委員会」を設置し、感染症に罹らないように法人全体で注意し、入居者が安全・安心の共同生活が出来るように努力している。</p> <p>管理者は職員と問題点を共有し、問題を一人で抱え込まず、協力し合って課題の解消や介護の質向上に努力している。全く喋らなかつた入居者が話し、歌えるようになった事例もある。</p> <p>「リスク委員会」を設け、事例を細かく検討し、医療面のバックアップも含めて対策を立てている。また、ヒヤリハット以前のちょっとした事も「ドッキリメモ」に記録し、事故報告書と共に全職員に閲覧し、問題を共有して再発防止に努めている。</p>		